

令和 5 年度入学者
(2 0 2 3)

岐阜大学大学院教育学研究科 学生募集要項

- ・教職実践開発専攻 教育実践開発コース（第2次募集）
- ・教職実践開発専攻 教科指導能力開発コース（第2次募集）
- ・教職実践開発専攻 学校管理職養成コース
- ・岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級による選抜

令和 4 年11月



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

岐阜大学大学院教育学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL (058) 293-2206・2209
教育学研究科ホームページ <https://www.ed.gifu-u.ac.jp/>

岐阜大学大学院 教育学研究科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

〔教育目標〕

本研究科は、社会の多様な要請に応え、地域の教育を中心となって担い、文化の発展に寄与していく高度な教育専門職および専門職業人を養成・再教育していきます。

〔求める学生像〕

教職実践開発専攻

教職実践開発専攻では、学部等で培った基礎的な教育に関する理論と実践能力を基礎とし、学習者に関わるとともに、同僚との情報交換を通して学習者の実態を的確に把握し、一人ひとりのよさや課題を見いだすことができる高度な教育専門職を養成・再教育します。

- ① 教科指導能力開発コースにおいては、教科等の指導内容に関する高度な知識を身につけ、実践で活かしたい学部卒業生、およびそれらの知識を自らの成長の中で活かし、教育現場で活躍したい方を求めます。
- ② 教育実践開発コースにおいては、学習指導の構想・実践・評価改善に関する高度な知識を身につけ、実践で活かしたい学部卒業生、およびそれらの知識を自らの成長の中で活かし、教育現場で活躍したい方を求めます。
- ③ 学校管理職養成コースにおいては、学校や地域の教育課題を解決するために、学校ビジョンを構想したり、学校経営計画を作成したりする能力を身につけ、教育現場で活躍したい方を求めます。

教育臨床心理学専攻

教育臨床心理学専攻では、学校教育に関わる心理臨床・教育相談・カウンセリングについての高度な実践力と応用力を備え、人が生涯にわたる様々な局面で出会う心理発達の課題の解決を支援できる能力を修得し、スクールカウンセラーとなり得る公認心理師、臨床心理士、学校心理士を目指す方を求めます。

- ① 不登校、いじめ問題をはじめとした複雑化する学校現場等の問題への科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培いたいという意欲を持つ人 <知識・技能>
- ② 子どもの発達・教育について個のありようととも地域コミュニティ・家庭環境を幅広く捉える視座、それを支える専門的理解および高度な対応能力を備えた高度専門職業人となることを志向する人 <知識・技能>、<主体性・協働>
- ③ 将来、地域に住む人々が抱えるさまざまな心の問題を解決するために専門的な支援をしたいという意思を持つ人 <知識・技能>、<思考力・判断力>
- ④ 多職種と協働して心理発達の課題の解決を試みる行動力やコミュニケーション能力を有する人 <思考力・判断力>、<主体性・協働>

教職実践開発専攻について

教職実践開発専攻には、教科指導能力開発コース、教育実践開発コース、学校管理職養成コースの3つのコースを設置しています。

本専攻は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭の高度専門職養成を行います。（教科の深い勉強もできます。）

＊基礎実習、教育臨床実習、授業開発臨床実習等の実習科目（計10単位）があります。

【教科指導能力開発コース】

人材養成像

教科等の指導内容に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすことができる教員

【教育実践開発コース】

人材養成像

- ・学習指導の構想・実践・評価改善に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすことができる教員
- ・学習者の健康、障がいの状態、発達の段階、興味・関心等の観点を踏まえた実践的な指導・援助に関する高度な知識を身につけた教員

【学校管理職養成コース】

人材養成像

学校や地域の教育課題を解決するために、学校ビジョンを構想したり、学校経営計画を作成したりすることができる学校管理や組織的な運営を行う教員

取得可能な教員免許状

本専攻において取得できる教員免許状の種類は以下のとおりです。ただし、専修免許状の資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校及び高等学校教諭専修免許状については、その教科）の一種免許状を有することが必要です。

■幼稚園教諭専修免許状

■小学校教諭専修免許状

■中学校教諭専修免許状

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教

■高等学校教諭専修免許状

国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉

■特別支援学校教諭専修免許状

知的障害者、肢体不自由者、病弱者

■養護教諭専修免許状

■栄養教諭専修免許状

教育臨床心理学専攻について

本専攻は、公認心理師・臨床心理士・学校心理士・スクールカウンセラー養成に特化した専攻です。

学部と研究科を通した一貫指導における教育効果，さらに教職実践開発専攻との有機的かつ多様なつながりによる教育・指導体制の活性化をめざします。

人材養成像

- ・不登校，いじめ問題をはじめとした複雑化する学校現場の問題に対して，自らが発見した問題点を客観的に評価できる心理専門職であり，その評価をもとに被援助者や組織に対して専門的知識と技能を用いて適切に支援できる人物
- ・教員をはじめとした多職種に助言することのできるコミュニケーション力をもった専門家

***教育臨床心理学専攻では，専修免許状の取得はできません。**

目 次

	ページ
1 入学者選抜関係日程	1
2 専攻別募集人員	2
3 出願資格	3
4 出願手続・方法	5
5 入学者選抜方法（試験日時及び場所等）	8
6 配点	16
7 入学者選抜試験の可否判定における欠格基準	17
8 合格者発表	17
9 入学手続	17
10 入学料及び授業料	17
11 入試結果の情報開示の案内	18
12 個人情報の取り扱いについて	18
13 障害等のある者の出願に当たっての事前相談	19
14 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について	20
15 長期履修学生制度について	20
16 修業年限短縮の特例について	20
17 大学院学生の学部開講科目の受講について	20
18 大規模災害により被災した岐阜大学入学志願者の検定料の免除について	21
19 その他（本学への交通機関等）	21

添付書類 出願書類一式（綴じ込み）

1 入学者選抜関係日程

出 願 期 間	令和 5 年 1 月 5 日 (木) ～ 10 日 (火) 持参の場合：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで受付 (ただし土日祝日は除く。) 郵送の場合：1 月 10 日 (火) 午後 4 時 30 分までに <u>必着</u>
試 験 日	令和 5 年 2 月 4 日 (土) 会場：岐阜大学教育学部
合 格 者 発 表	令和 5 年 2 月 21 日 (火) 正午
入 学 手 続	令和 5 年 3 月 15 日 (水)

(備考)

本要項の「3 出願資格」の(3)に該当する者における、個別の入学資格審査関係日程は以下のとおりである。

出 願 期 間	令和 4 年 12 月 2 日 (金) まで 持参の場合：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで受付 (ただし土日祝日は除く。) 郵送の場合：12 月 2 日 (金) 午後 4 時 30 分までに <u>必着</u>
書類審査の結果通知	令和 4 年 12 月 9 日 (金) までに結果及び課題を通知
研究小論文等の 課題提出期限	令和 4 年 12 月 15 日 (木) 持参の場合：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで受付 (ただし土日祝日は除く。) 郵送の場合：12 月 15 日 (木) 午後 4 時 30 分までに <u>必着</u>
資格審査の結果通知	令和 4 年 12 月 22 日 (木) までに可否を通知

本要項の「3 出願資格」の(4)及び(11)に該当する者における、個別の入学資格審査関係日程は以下のとおりである。

出 願 期 間	令和 4 年 12 月 6 日 (火)・7 日 (水) 持参の場合：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで受付 郵送の場合：12 月 7 日 (水) 午後 4 時 30 分までに <u>必着</u>
資格審査の結果通知	令和 4 年 12 月 22 日 (木) までに可否を通知

障害等のある者の出願に当たっての事前相談期限

相 談 の 期 限	令和 4 年 12 月 7 日 (水) まで
-----------	------------------------

2 専攻別募集人員

(1) A入試（一般選抜）、B入試（現職教員等選抜）及びC入試（派遣・推薦教員選抜）

専攻	コース	分野等		募集人員
教職実践開発	学校管理職養成	学校経営，学校改善，組織開発		約 15 名
	教育実践開発	カリキュラム開発 特別支援教育		若干名
	教科指導能力開発	言語社会系	国語科教育実践	若干名
			社会科教育実践	
			英語科教育実践	
		サイエンス系	数学科教育実践	
			理科教育実践	
			技術科教育実践	若干名
			家庭科教育実践	
		芸術身体表現系	音楽科教育実践	若干名
			美術科教育実践	
			保健体育科教育実践	
教育臨床心理学	—	—		

（備考）

- 1 他専攻との併願はできません。
- 2 教職実践開発専攻学校管理職養成コースは，B入試（現職教員等選抜）及びC入試（派遣・推薦教員選抜）のみを実施（8 ページ参照）します。出願資格（3 ページ参照）に該当するかどうか必ず確認してください。また募集人員には，大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例の趣旨等に基づき，岐阜県教育委員会・岐阜県内市町村教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小中学校長から推薦を受けた現職教員の受け入れ枠を含みます。
- 3 教育実践開発コース特別支援教育分野では特別支援学校教諭 1 種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）が必要です。

(2) 岐阜大学の学部 3 年次を対象とする飛び級による選抜

専攻	コース	分野等		募集人員
教職実践開発	教育実践開発	カリキュラム開発 特別支援教育		若干名
	教科指導能力開発	言語社会系	国語科教育実践	
			社会科教育実践	
			英語科教育実践	
		サイエンス系	数学科教育実践	
			理科教育実践	
			技術科教育実践	
			家庭科教育実践	
		芸術身体表現系	音楽科教育実践	
			美術科教育実践	
教育臨床心理学	—	—		

(3) 夜間・遠隔教育について

夜間・遠隔授業を志望する者は、受講場所（岐阜大学教室、もしくはインターネット接続された機器を備えた自宅等）と、連絡先の E-mail アドレスを志願票に明記すること。「インターネット接続された機器を備えた自宅等」での受講を希望する者は、インターネット接続された機器が遠隔授業の履修に十分な性能を備えていることが条件であり、履修に障害がある場合は学生の責任で十分な性能の機器等を備えなければならない。

(4) 教育臨床心理学専攻について

- ① この専攻の募集は、将来「公認心理師」/「臨床心理士」/「学校心理士」資格を得ることを目的として、それぞれにおいて必要な科目を修得し、大学院を修了することを希望する者を対象とする。
- ② 本研究科は、教育臨床心理学専攻を修了した者が、「臨床心理士」の受験資格を得ることができるよう、財団法人日本臨床心理士資格認定協会により、第1種指定大学院として指定を受けている。
- ③ 教育臨床心理学専攻の授業科目は、昼間のみの開講であり、岐阜大学教室においてのみ履修が可能である。また、在学期間中は、学内外における実習活動が平日に義務付けられる。
- ④ 「公認心理師」資格を得るためには、大学学部卒業時において公認心理師となるために必要な科目を修得していなければならない。
- ⑤ 他専攻からの転専攻は認めていない。

3 出 願 資 格

教職実践開発専攻

教職実践開発専攻出願資格は次のとおりである。

基礎資格として(1)~(11)の各号のいずれかに該当し、かつ次のア又はイに該当する者。

＊教育実践開発コース特別支援教育分野では特別支援学校教諭1種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）の取得（取得見込み）が必要。

ア. 小学校、中学校、高等学校の教諭若しくは特別支援学校教諭のいずれかの一種免許状を有する者（取得見込みの者を含む）

イ. 本研究科が教員免許状を取得している者と同等とみなす者

教育臨床心理学専攻

教育臨床心理学専攻の出願資格は次のとおりである。

基礎資格として(1)~(11)の各号のいずれかに該当する者。ただし、公認心理師受験資格取得を希望する場合は、公認心理師受験資格で必要な学部課程の単位を全て取得していること（取得見込みの者を含む）。

基礎資格

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を特に優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（注1参照）
- (4) 学校教育法第102条第2項の規定により本学大学院又は他大学の大学院に入学した者で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注2参照）
- (5) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者

- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (9) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (10) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに22歳以上に達する者
（これによる入学資格審査の出願手続は、以下のとおりである。）
- ① 資格審査のための出願期間
令和4年12月6日（火）～12月7日（水）
提出書類持参の場合の受付は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし土日祝日は除く。
郵送の場合も12月7日（水）午後4時30分までに必着のこと。
〔書類提出は、「出願書類提出先」（7ページ参照）に同じ。〕
- ② 提出書類
- ア 履歴書（本要項の「志願票」裏面並びに表面に記入のこと）
- イ 最終学校の成績証明書及び卒業証明書（3ヶ月以内に発行されたもの）
※ 外国において発行される証明書等には、日本語訳を添付すること。また公証人による公証書が必要となる場合があるので、事前に出願書類提出先へ確認すること。
- ウ 研究内容実績（官公庁及び企業等の所属長が証明したもの）
- エ 大学院入学希望の動機・目的を記した書類
- オ 大学院で希望する学習、研究分野及びテーマを記した書類
- カ 大学卒業程度以上の学力に相当すると、自ら評価した理由書
※ 具体的な職務内容及び職務中に上げた業績、受講した講習・通信教育並びに取得した資格・免許等を述べる中で、大学卒業程度以上の学力に相当していると考える理由を示すこと。
- 任意様式
（A4サイズ）
（それぞれ別葉で作成すること。）
- ③ 審査方法等
提出書類に基づき、書類審査を行う。
- ④ 資格審査の結果は、令和4年12月22日（木）までに出願者へ学務係より通知する。

（注1）(3)により出願しようとする場合は、次の①・②の条件を満たす者で、事前の資格審査を行う。

① 修得単位

大学第3年次に在学の学生で、当該年度3月末において、第3年次までに修得する必要がある必修専門科目及び教養科目の全部、並びにそれらを含めて卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得見込みであること。

② 学業成績

出願時における修得単位に占める S（秀）又は A（優）の成績の割合が 4/5 以上である者
[資格審査のための出願手続き]

入学資格審査申請書（本学所定の様式）、在学証明書、成績証明書及び上記①の条件が確認できる履修便覧等の当該ページ（写し）を、令和 4 年 12 月 2 日（金）までに、教育学部学務係へ提出すること。これらの書類により、上記①・②の条件を満たしているか確認を行う。

確認した結果は、令和 4 年 12 月 9 日（金）までに、学務係から出願者へ通知する。その際、条件を満たすと確認された者にのみ、研究小論文等の課題を通知するので、令和 4 年 12 月 15 日（木）までに学務係へ課題を提出すること。

資格審査の結果は、令和 4 年 12 月 22 日（木）までに、教育学部学務係から出願者へ通知する。

（注 2）(4)により出願しようとする場合は事前審査等を行うので、(1)に準じた手続きを行うこと。

4 出願手続・方法

(1) 出願期間

令和 5 年 1 月 5 日（木）～ 1 月 10 日（火）

持参の場合の受付は、午前 9 時から午後 4 時 30 分までとする。（ただし、土日祝日は除く。）

郵送の場合は、1 月 10 日（火）午後 4 時 30 分までに必着のこと。

なお、検定料の振込みは令和 5 年 1 月 10 日（火）の午前中までに行うこと。

(2) 出願書類

不足書類がある場合手続きを行えないため、8 ページ以降に示す選抜方法を参照し、該当する書類を必ず確認し全て提出すること。

出願書類	提出該当者	注 意 事 項
入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 試験場座席番号票	全 員	本学所定の用紙による。
履 歴 書		本学所定の用紙による。（入学志願票の裏面）
研 究 計 画 書		本学所定の用紙による。
成 績 証 明 書		卒業（見込）した大学の学長等が作成したもの。なお、大学院を修了（見込）している場合は併せて提出すること。
卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	全 員 〔出願資格（2） 該当者を除く〕	卒業（見込）した大学の学長等が作成したもの。なお、大学院を修了（見込）している場合は併せて提出すること。
学位授与証明書又は 学位授与見込証明書	出 願 資 格（2） 該 当 者 の み	大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。
教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	教職実践開発専攻に 出願する者で、出願資 格（10）該当者のみ	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。 ※免許状の原本及びその写しは受けません。（以降同様）
教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	免許状既取得者	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。 ※免許状の既取得者はこちらを提出すること。（教育臨床心理学専攻に出願する者を除く）
教育職員免許状取得 見 込 証 明 書	免許状取得予定者	在籍する大学の学長または学部長等が作成したもの。 ※令和 5 年 3 月末取得予定者はこちらを提出すること。（教育臨床心理学専攻に出願する者を除く）

出願書類	提出該当者	注 意 事 項
教育実践論文・研究業績等報告書	教育関係経験者のみ (B入試C入試志願者)	「B入試(現職教員等選抜)」,「C入試(派遣・推薦教員選抜)」を希望する者は、実践論文・記録等のうち主要なもの5点以内の原本又は写しを添えて、本学所定の用紙にその概要を記入して提出すること。(15ページ参照)
受験承諾書	大学院在学者及び現職教員等	本学所定の用紙による。他の大学院に在学中の者は、学長又は研究科長が作成したもの。現に官公庁、学校、会社等に在職している者で、 <u>現職のまま入学を希望する者は所属長が作成したもの。</u>
推薦書	岐阜県教育委員会・岐阜県内市町村教育委員会及び附属小中学校からの派遣・推薦教員のみ(C入試志願者)	「C入試(派遣・推薦教員選抜)」志願者は、岐阜県教育委員会、岐阜県内市町村教育委員会又は岐阜大学教育学部附属小中学校長が作成した推薦書を提出すること。 任意様式 (A4 サイズ)
楽曲申告書	音楽科教育実践の当該志願者	専門科目(器楽A, 器楽B, 声楽)の選択者(C入試志願者除く)のみ、本学所定の用紙により提出すること。 (選択科目によっては楽譜の提出もあるので注意すること)
作品(楽譜又はCDに録音した音源 3点以内)	音楽科教育実践の作曲志願者	専門科目(作曲)の選択者のみ、楽譜は白黒でコピーの上製本すること。楽譜・音源とも無記名とする。
語学試験成績証明書(原本)	英語の試験免除希望者(A入試のみ) (英語科教育実践志願者及び外国人留学生除く)	令和2年4月以降に受験した、次のいずれかの成績証明書(原本)を提出すること。 ①実用英語技能検定(英検) 準1級以上 ②TOEFL® iBT 76点以上(My Best scoresは活用しません) ③TOEIC® Listening & Reading Test (公開テスト) 700点以上 ④IELTS 6.0以上 提出された原本は原則として返却しないため、返却を希望する場合は、証明書のサイズに見合う返信用封筒に送料分の郵便切手を貼り、受取り先の住所・宛名を記入して出願書類に同封すること。(試験終了後に返送します。)
検定料		30,000 円
振込証明書	全 員	本学所定の「入学検定料払込用紙」に住所、氏名等必要事項を記入の上、検定料を最寄りの銀行で振込み、振込み後は「 <u>振込証明書</u> 」を入学志願票に貼り、 <u>出願書類として提出すること。</u> (振込手数料はご負担願います。)なお、この検定料の振込みは、「電信扱」となっているので、 <u>出願期間最終日での振込みは午前中までに行うこと。</u> (午後の取扱いができない銀行があるので注意すること)また、「岐阜大学検定料振込金(兼手数料)受領書」は本人が大切に保管しておくこと。
住民票記載事項証明書等	外 国 人	現に日本国に居住している外国人は、居住している市区町村長の発行するもので、 <u>在留資格が明示されているもの。</u> その他の者は、本人パスポートの記載事項があるすべてのページの写を提出してください。
日本語能力試験1級の合格証明書	外 国 人	日本国際教育支援協会が発行したもの。
あて名シール		本学所定の用紙による。
返信用封筒	全 員	本学所定の封筒に郵便切手 664 円分を貼り、受信場所、本人の氏名を記入すること。

備 考

- 1 証明書等は、3ヶ月以内に発行されたものとする(語学試験成績証明書除く)。なお、証明書類の写しは受付けません。また、証明書記載の氏名が旧姓の場合は、戸籍抄本を添付すること。
- 2 提出書類中、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を必ず添付すること(語学試験成績

証明書除く）。

※外国において発行される成績証明書，卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書等については，公証人による公証書が必要となる場合がありますので，事前に出願書類提出先へ確認すること。

- 3 受理した出願書類等の一切は返還しない。ただし，実践論文・記録等の原本及び返却希望者の語学試験成績証明書の原本については返却する。

4 検定料返還に関する留意事項

①次の場合を除き，一旦領収した検定料は原則として返還しません。

- a 出願書類が受理されなかった場合
- b 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- c 検定料を振り込んだが，出願書類を提出しなかった場合

②返還請求の方法

次の a～f を明記した検定料払戻請求書を作成し，「岐阜大学検定料振込金（兼手数料）受領書」を添付して，岐阜大学教育学部学務係（〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1）まで郵送してください。（封筒には「検定料払戻請求書 在中」と朱書きしてください。）

なお，返還請求は令和 5 年 1 月 5 日（木）から 1 月 18 日（水）までをお願いします。

- a 返還請求の理由
- b 志願者氏名（フリガナ），押印
- c 現住所
- d 連絡先電話番号
- e 志望専攻名等
- f 検定料を受け取る銀行名，支店名，預貯金種別，口座番号，口座名義（フリガナ）

- 5 国費外国人留学生である者は，事前に出願書類提出先へ申し出ること。

(3) 出願書類提出先

出願しようとする者は，出願書類を一括で取り揃え，本学所定の封筒に入れ，下記に提出すること。
郵送の場合は，簡易書留・速達とすること。

【〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1 岐阜大学教育学部学務係 TEL 058-293-2206・2209】

5 入学者選抜方法

教育臨床心理学専攻

A入試（一般選抜）

入試区分	選 抜 方 法（詳細については本項を確認してください）
(1) A入試（一般選抜）	筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。

教職実践開発専攻 学校管理職養成コース

B入試（現職教員等選抜）又はC入試（派遣・推薦教員選抜）のいずれかとする。

入試区分	選 抜 方 法（詳細については本項を確認してください）
(2) B入試（現職教員等選抜） *	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(3) C入試（派遣・推薦教員選抜）	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，小論文，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。

教職実践開発専攻 教育実践開発コース

A入試（一般選抜），B入試（現職教員等選抜）又はC入試（派遣・推薦教員選抜）のいずれかとする。

入試区分	選 抜 方 法（詳細については本項を確認してください）
(1) A入試（一般選抜）	筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(2) B入試（現職教員等選抜） *	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(3) C入試（派遣・推薦教員選抜）	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，小論文，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。

教職実践開発専攻 教科指導能力開発コース（第2次募集）及び飛び級による選抜

A入試（一般選抜），B入試（現職教員等選抜）のいずれかとする。

入試区分	選 抜 方 法（詳細については本項を確認してください）
(1) A入試（一般選抜）	筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(2) B入試（現職教員等選抜） *	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。

（備考）

- 1 「教育関係経験者（◆）」は，(1)「A入試」又は(2)「B入試」のいずれかを選択し，受験するものとする。入試区分は事前に出願書類の入学志願票で申告すること。

（◆）(3)「C入試（派遣・推薦教員選抜）」対象となる，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨等に基づく岐阜県教育委員会・岐阜県内市町村教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小中学校から派遣・推薦される現職教員を除く。

*教職実践開発専攻における，(2) B入試の「現職教員等」について

派遣・推薦教員を除き，現職教員及び教育関係諸機関に常勤職員として在籍している者で，入学年度の前年度の3月末日現在において常勤職員として3年以上の経験を有する者とする。

なお，経験年月数の算出に当たっては，次のとおりとする。

- ・経験年月数は入学年度の4月1日現在で算出し，それ以前に退職する予定の時は退職予定日とする。月数が1か月未満の場合は，1か月に切り上げて算出する。
- ・休職期間は経験年月数に算入しない。
- ・「臨時的任用職員」や「期限付常勤講師」等は上記の常勤職員に含まない。

2 岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級による選抜で出願する者は、A入試で受験するものとする。

3 A入試における英語の試験免除の措置

次に掲げるいずれかの語学試験の基準（点数）を満たしている者は、成績証明書（原本）の提出により「英語」の試験を免除し、出願する専攻・コース・分野等における英語（◇）は満点を取得したものとする。

なお、外国人留学生の場合は、英語については日本語の試験を行うため対象外とする。

また、教科指導能力開発コース言語社会系英語科教育実践分野は、独自試験を行うことで次に掲げる基準以上の英語力を測るため、試験免除の措置の対象外とする。

語学試験	基準（点数）
① 実用英語技能検定（英検）	準1級以上
② TOEFL® iBT (My Best scores は活用しません)	76 点以上
③ TOEIC® Listening & Reading Test (公開テスト)	700 点以上
④ IELTS	6.0 以上

出願する年度の2年前の
年度の4月1日以降に受
験したものを有効とする。

◇試験科目「英語」について

教育臨床心理学専攻：必須科目の英語

教職実践開発専攻 教育実践開発コース，教科指導能力開発コース言語社会系（英語科教育実践分野除く），サイエンス系，芸術身体表現系：選択科目内の英語問題

試験日時及び場所等

試験日 令和5年2月4日（土）

試験場 岐阜大学教育学部棟

受験上の注意（共通）

- 1 試験室は、当日教育学部棟玄関の掲示で確認すること。
- 2 受験者は、試験開始10分前までに入室，着席すること。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻30分以内に限り、受験を認める。
- 4 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置くこと。

試験日程

① 通常の試験（英語免除措置者試験は②英語免除措置者試験を参照のこと）

専攻	コース・系	【A入試】筆記試験		【B入試】筆記試験		【C入試】筆記試験		口述試験
教職実践開発	学校管理職養成			必須科目 (専門)	9:00～ 10:00	—	—	13:30～
				選択科目	10:15～ 11:15	—	—	
				必須科目 (小論文)	11:30～ 12:30	必須科目 (小論文)	11:30～ 12:30	
	教育実践開発	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00	
		選択科目 (英語問題含む)	10:15～ 12:30	選択科目	10:15～ 12:00	—	—	
	教科指導能力開発 言語社会	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00			
		選択科目 (英語問題含む)	10:15～ 12:30	選択科目	10:15～ 12:00			
	教科指導能力開発 サイエンス	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00			
		選択科目 (英語問題含む)	10:15～ 12:30	選択科目	10:15～ 12:00			
	教科指導能力開発 芸術身体表現	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00	必須科目 (小論文)	9:00～ 10:00			
		選択科目 (英語問題含む)	10:15～ 12:30	選択科目	10:15～ 12:00 音楽分野 10:15～ 12:30			
教育臨床心理学	—	必須科目 (英語)						
		必須科目 (専門)						

② 英語免除措置者試験【A 入試のみ対象】

専 攻	コース・系	筆 記 試 験		口 述 試 験
教 職 実 践 開 発	教 育 実 践 開 発	必須科目(小論文)	9:00～10:00	13:30～
		選択科目	10:15～12:00	
	教科指導能力開発 言語社会	必須科目(小論文)	9:00～10:00	
		選択科目	10:15～12:00	
	教科指導能力開発 サイエンス	必須科目(小論文)	9:00～10:00	
		選択科目	10:15～12:00	
	教科指導能力開発 芸術身体表現	必須科目(小論文)	9:00～10:00	
		選択科目	10:15～12:00 【音楽分野】 10:15～12:30	
教育臨床心理学	—	必須科目(専門)		

(注) 教科指導能力開発コース言語社会系英語科教育実践分野は、独自試験を実施するため、英語試験免除は行わない。

(2) 学力試験科目

A入試(一般選抜・岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級用)

専攻	コース・系	試験科目	
		筆記試験（音楽科教育実践分野のみ実技試験を含む。）	口述試験
教職実践開発	教育実践開発	必須科目 小論文 選択科目 カリキュラム開発分野問題，特別支援教育分野問題のうちから1科目を選択 ・カリキュラム開発分野問題 カリキュラム開発基礎（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） （広くカリキュラム開発に関する基礎的知識を確認する問題） ・特別支援教育分野問題 特別支援教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可）	志望理由，研究計画，専門分野における経験，知識，適性などについて問う。
	教科指導能力開発 言語社会	必須科目 小論文 選択科目 国語科教育実践問題，社会科教育実践問題，英語科教育実践問題のうちから1科目を選択 ・国語科教育実践問題 国語科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） ・社会科教育実践問題 社会科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） ・英語科教育実践問題 英語科教育（英語問題を含む） 辞書持込み不可	
	教科指導能力開発 サイエンス	必須科目 小論文 選択科目 数学科教育実践問題，理科教育実践問題，技術教育実践問題，家庭科教育実践問題のうちから1科目を選択 ・数学科教育実践問題 数学科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） ・理科教育実践問題 理科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） ・技術教育実践問題 技術科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） ・家庭科教育実践問題 家庭科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可）	
	教科指導能力開発 芸術身体表現	必須科目 小論文 選択科目 音楽科教育実践問題，美術科教育実践問題，保健体育科教育実践問題のうちから1科目を選択 ・音楽科教育実践問題 音楽科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可） 専門科目：音楽科教育学，音楽学，作曲，作曲理論，器楽A（ピアノ），器楽B（管楽器），声楽のうちから1科目を選択（詳細は別表1） ・美術科教育実践問題 美術科教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可）注4 ・保健体育科教育実践問題 保健体育教育（英語問題を含む） 辞書 持込み可。（電子辞書は不可）	
教育臨床心理学	—	必須科目 臨床心理学（心理学一般を含む），英語 辞書 持込み可。（電子辞書は不可）	

- (注) 1 選択科目については、志願者が出願書類の入学志願票であらかじめ申告するものとする。
- 2 外国人留学生の場合、専攻毎に実施される必須科目または選択科目の英語については、日本語の試験を行うこととする。
- その際、辞書（電子辞書は不可）の持込みを可とする。
- ただし、国語科教育実践分野の受験者は辞書の持込みを不可とする。
- 3 外国人留学生の場合、日本語の試験以外の筆記試験科目でも辞書の持込みを可とする。
- ただし、試験当日の筆記試験開始前または開始直後に、監督教員が辞書を点検し、使用の可否を判断する。使用を認められた辞書を、筆記試験の時間中（9時～12時30分）に、他の辞書に取り替えることは認めない。
- なお、使用を許可できる辞書には次の条件を課すので、辞書の選択に十分注意すること。
- 日本語の読み書きを補助する辞書に限り、使用を許可する。
 - 辞書の書名が特定の専門分野に対応している辞書及び事典類は、使用を許可しない。
 - 電子辞書は、使用を許可しない。
 - その辞書が、試験内容に対して不公正な情報を与えると試験を行う専攻又はコース（分野）等が判断した場合は、その辞書の使用を許可しない。
- 4 美術科教育実践分野志願者で制作活動をしている場合は、口述試験の際に作品又はその写真資料等を持参すること。

音楽科教育実践分野学力試験（一般選抜）について

別表1

試験科目・実技		試験時間
選択科目	音楽科教育	10：15～11：25
専門科目	以下の7科目から1つ選択 (1) 音楽科教育学 (2) 音楽学 (3) 作曲 (4) 作曲理論 (5) 器楽A（ピアノ） (6) 器楽B（管楽器） (7) 声楽	(1) (2) (3) (4) 試験時間 11：40～12：30 (5) (6) (7) 11：50より試験番号順に行う (試験開始まで練習可能) *科目によって試験時間が前後 する可能性がある
口述試験		13：30～

試験内容の詳細

試験科目	試験内容	
選択科目	音楽科教育	音楽教育に関する基礎的・一般的内容
専門科目	(1) 音楽科教育学	音楽教育に関する専門的内容
	(2) 音楽学	音楽学に関する内容
	(3) 作曲	作品の提出と和声（バス課題およびソプラノ課題） * P6を参照のこと
	(4) 作曲理論	和声（バス課題）および理論に関する内容
	(5) 器楽A（ピアノ）	任意の独奏曲（複数曲も可）を暗譜演奏のこと。 試験時間は20分以内とし、途中で打ち切ることもある。
	(6) 器楽B（管楽器）	任意の管楽器の独奏曲（協奏曲を含む）を暗譜演奏のこと。試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。伴奏者が必要な曲の場合は、各自同伴すること。演奏曲のソロパートの楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。
	(7) 声楽	任意の独唱曲を暗譜演奏のこと。 試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。伴奏者は各自同伴すること。 演奏曲の楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。

A 入試（英語免除措置者用）， B 入試（現職教員等選抜用）

専攻	コース・系	試験科目	
		筆記試験（音楽科教育分野のみ実技試験を含む。）	口述試験
教職実践開発	学校管理職養成	必須科目 教育学，小論文 選択科目 学校経営学，特別支援教育のうちから1科目選択	志望理由，研究計画，専門分野における経験，知識，適性などについて問う。
	教育実践開発	必須科目 小論文 選択科目 カリキュラム開発，特別支援教育のうちから1科目選択 ・カリキュラム開発分野問題 カリキュラム開発基礎 （広くカリキュラム開発に関する基礎的知識を確認する問題） ・特別支援教育分野問題 特別支援教育	
	教科指導能力開発 言語社会	必須科目 小論文 選択科目 国語科教育実践問題，社会科教育実践問題，英語科教育実践問題のうちから1科目を選択 ・国語科教育実践問題 国語科教育 ・社会科教育実践問題 社会科教育 ・英語科教育実践問題 英語科教育	
	教科指導能力開発 サイエンス	必須科目 小論文 選択科目 数学科教育実践問題，理科教育実践問題，技術教育実践問題，家庭科教育実践問題のうちから1科目を選択 ・数学科教育実践問題 数学科教育 ・理科教育実践問題 理科教育 ・技術教育実践問題 技術科教育 ・家庭科教育実践問題 家庭科教育	
	教科指導能力開発 芸術身体表現	必須科目 小論文 選択科目 音楽科教育実践問題，美術科教育実践問題，保健体育科教育実践問題のうちから1科目を選択 ・音楽科教育実践問題 音楽科教育 専門科目：音楽科教育学，音楽学，作曲，作曲理論，器楽A（ピアノ），器楽B（管楽器），声楽のうちから1科目選択 （詳細は別表2） ・美術科教育実践問題 美術科教育 注4 ・保健体育科教育実践問題 保健体育科教育	
教育臨床心理学	—	必須科目 臨床心理学（心理学一般を含む）（B入試は実施しない）	

（注） 1 選択科目については，志願者が出願書類の入学志願票であらかじめ申告するものとする。

2 英語科教育実践分野の受験者は辞書の持込みを不可とする。なお，英語科教育実践分野は英語免除措置を行わない。

- 3 外国人留学生の場合、筆記試験科目での辞書の持込みを可とする。
 ただし、試験当日の筆記試験開始前または開始直後に、監督教員が辞書を点検し、使用の可否を判断する。使用を認められた辞書を、筆記試験の時間中（9時～12時30分）に、他の辞書に取り替えることは認めない。
 なお、使用を許可できる辞書には次の条件を課すので、辞書の選択に十分注意すること。
 a 日本語の読み書きを補助する辞書に限り、使用を許可する。
 b 辞書の書名が特定の専門分野に対応している辞書及び事典類は、使用を許可しない。
 c 電子辞書は、使用を許可しない。
 d その辞書が、試験内容に対して不公正な情報を与えると試験を行う専攻又はコース（分野）等が判断した場合は、その辞書の使用を許可しない。
 また、外国人留学生は英語については日本語の試験を行うため、英語免除措置は対象外とする。
- 4 美術科教育実践分野志願者で制作活動をしている場合は、口述試験の際に作品又はその写真資料等を持参すること。

音楽科教育実践分野学力試験（英語免除措置者、現職教員等選抜）について

別表2

試験科目・実技		試験時間
選択科目	音楽科教育	10:15～11:00
専門科目	以下の7科目から1つ選択 (1) 音楽科教育学 (2) 音楽学 (3) 作曲 (4) 作曲理論 (5) 器楽A（ピアノ） (6) 器楽B（管楽器） (7) 声楽	(1) (2) (3) (4) 試験時間 11:40～12:30 (5) (6) (7) 11:50より試験番号順に行う (試験開始まで練習可能) *科目によって試験時間が前後 する可能性がある
口述試験		13:30～

試験内容の詳細

試験科目	試験内容	
選択科目	音楽科教育	音楽教育に関する基礎的・一般的内容
専門科目	(1) 音楽科教育学	音楽教育に関する専門的内容
	(2) 音楽学	音楽学に関する内容
	(3) 作曲	作品の提出と和声（バス課題およびソプラノ課題） * P6を参照のこと
	(4) 作曲理論	和声（バス課題）および理論に関する内容
	(5) 器楽A（ピアノ）	任意の独奏曲（複数曲も可）を暗譜演奏のこと。 試験時間は20分以内とし、途中で打ち切ることもある。
	(6) 器楽B（管楽器）	任意の管楽器の独奏曲（協奏曲を含む）を暗譜演奏のこと。試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。伴奏者が必要な曲の場合は、各自同伴すること。演奏曲のソロパートの楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。
	(7) 声楽	任意の独唱曲を暗譜演奏のこと。 試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。伴奏者は各自同伴すること。 演奏曲の楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。

C入試（派遣・推薦教員選抜用）

専 攻	コ ー ス	試 験 科 目	
		筆記試験	口述試験
教 職 実 践 開 発	学 校 管 理 職 養 成	必須科目 小論文	志望理由，研究計画，専門分野における経験，知識，適性などについて問う。
	教 育 実 践 開 発		

(3) B入試（現職教員等選抜）及びC入試（派遣・推薦教員選抜）について

B入試（現職教員等選抜）又はC入試（派遣・推薦教員選抜）を希望する者は，「教育実践論文・研究業績等報告書」に記載した教育実績論文・記録又は各専門分野に関わる論文・研究報告等の主要なもの（原本又は写し）5点以内を提出すること。

提出の対象となるものは次のとおりとする。

- ① 研究報告（地区研究会，県・文部科学省等の指定研究発表会，小・中・高の教科等研究会での研究報告）
- ② 著書，論文（学会誌，研究機関等の研究紀要，その他雑誌等に掲載された論文）
- ③ 翻訳，辞書，事典類の項目執筆
- ④ その他教育実践又は研究の成果を示す記録，資料等

6 配 点

(1) A入試（一般選抜）

専攻	コース	分野	試 験 科 目					計
			筆 記 試 験 等				口述 試験	
			必 須 科 目		小論文	教育実践 論文等		
			専 門	英 語				
教育臨床心理学	—	—	200	100	—	—	100	400

専攻	コース・系	分野	試 験 科 目					計
			筆 記 試 験 等				口述 試験	
			必 須 科 目		選択科目	教育実践 論文等		
			専 門	小論文				
教 職 実 践 開 発	教育実践 開発	カリキュラム開発	—	100	200 (内英語 50)	—	100	400
		特別支援教育						
	教科指導能力開発 言 語 社 会	国語	—	100	200 (内英語 50)	—	100	400
		社会						
		英語						
	教科指導能力開発 サ イ エ ン ス	数学	—	100	200 (内英語 50)	—	100	400
		理科						
		技術						
		家政						
	教科指導能力開発 芸 術 身 体 表 現	音楽	—	100	200 (内英語 50)	—	100	400
		美術						
		保健体育						

(注) 外国人留学生においては、英語に代えて日本語の試験を行う。

(2) B入試（現職教員等選抜）

専攻	コース・系	分野	試 験 科 目					計
			筆 記 試 験 等				口述 試験	
			必 須 科 目		選択科目	教育実践 論文等		
			専 門	小論文				
教 職 実 践 開 発	学校管理職養成	—	100	100	100	—	100	400
	教育実践開発	カリキュラム開発	—	100	150	50	100	400
		特別支援教育						
	教科指導能力開発 言 語 社 会	国語	—	100	150	50	100	400
		社会						
		英語						
	教科指導能力開発 サ イ エ ン ス	数学	—	100	150	50	100	400
		理科						
		技術						
		家政						
	教科指導能力開発 芸 術 身 体 表 現	音楽	—	100	150	50	100	400
		美術						
		保健体育						

(3) C入試（派遣・推薦教員選抜）

専攻	コース・系	分野	試 験 科 目					計
			筆 記 試 験 等				口述 試験	
			必 須 科 目		選択科目	教育実践 論文等		
			専 門	小論文				
教 職 実 践 開 発	学校管理職養成	—	—	100	—	200	100	400
	教育実践開発	カリキュラム開発	—	100	—	200	100	400
		特別支援教育						
	教科指導能力開発 言 語 社 会	国語	—	—	—	300	100	400
		社会						
		英語						
	教科指導能力開発 サ イ エ ン ス	数学	—	—	—	300	100	400
		理科						
		技術						
		家政						
	教科指導能力開発 芸 術 身 体 表 現	音楽	—	—	—	300	100	400
		美術						
		保健体育						

7 入学者選抜試験の合否判定における欠格基準

6に示してある「配点」表について、各試験科目の得点が、1科目でも満点の30パーセント未満の受験者は、不合格とする。

8 合格者発表

- (1) 日時 令和5年2月21日（火）12時
- (2) 発表方法 岐阜大学ホームページ上（<https://www.ed.gifu-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載する。
掲載期間は合格発表日から1週間とする。
合格通知書は郵送します。
なお、不合格者には結果通知を郵送しません。また、電話等による照会には一切応じません。

9 入学手続

令和5年3月15日（水）予定
この期間に入学手続をしなかった者は、本研究科への入学の意志がなく、入学を辞退したものとみなす。

10 入学料及び授業料（令和4年度入学生の例）

入学料 282,000 円
授業料(前期分) 267,900 円（年額 535,800 円）
（注）授業料納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

11 入試結果の情報開示の案内

(1) 開示内容

受験者本人からの請求に基づき、本人の得点（合否判定に使用した合計点）を開示します。また、合格者の試験成績（最高点、平均点、最低点）を併せて開示します。ただし、小論文、口述試験は開示しません。系ごとの合格者が4人以下の場合は試験の成績の開示はしません。また、合格者が10人以下の場合は、最低点を開示しません。

(2) 開示の請求方法

- a 請求できる者 本人に限ります。
- b 請求期間 令和5年4月27日（木）から5月26日（金）
（請求用紙の配布も同日以降とします。）
- c 請求方法 請求先（入試課）に郵送してください。
- d 請求先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学学務部入試課
- e 必要書類
 - ・ 岐阜大学入試情報開示請求書
 - ・ 令和5年度岐阜大学受験票（開示の際にお返しします。）
 - ・ 返信用封筒（開示通知書送付用）
 - ・ 長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、404円分の切手（簡易書留料金）を貼付してください。
- f 開示請求書用紙の入手方法
次のいずれかの方法で入手できます。（請求期間中のみ入手可）
 - ① 岐阜大学のホームページ（<https://www.gifu-u.ac.jp/>）からプリントアウトする。
 - ② 郵便で請求する。
返信用封筒（長形3号の封筒（縦23.5cm×横12.0cm）に84円切手貼付）を「請求先」あてに送ってください。
- g 開示方法 本人に開示決定通知書を郵送します。
請求受付後、開示までに約1か月を要しますので、あらかじめ了承願います。

12 個人情報の取り扱いについて

提出された志願票等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、入試情報処理システムに登録されますが、本学は、志願票等及び登録された個人情報を、責任をもって管理・保管します。

そして入学試験業務終了後は、この個人情報を、次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、また、第三者に開示することはありません。なお、第三者とは、本学入試業務担当者のうち、個人情報に接する必要がある者以外の者とします。

- (1) 合格者について、入学手続きに必要なデータを使用する場合
- (2) 入学者について、学生証の作成、カリキュラム登録、成績管理等、本人が大学生活をする上で必要な事務処理にデータを利用する場合
- (3) 入学者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合（ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合は個人識別ができない状態で行います。）
- (4) 本人の同意が得られた場合
- (5) 法令等により開示が求められた場合

13 障害等のある者の出願に当たっての事前相談

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることのないよう必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。

相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

また、入学後の修学相談の希望がある方は、お問い合わせください。

(1) 相談の期限

令和4年12月7日（水）まで

注：日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験上の配慮として申請が必要です。

なお、この相談は、障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験に関し、よりよい方法及び在り方を模索するためのものであり、本相談により入試結果の判定において不利になることはありません。

(2) 相談の方法

本学所定の用紙（障害者等受験上の配慮申請書）に医師の診断書又は身体障害者手帳（写）を添付し、教育学部学務係に提出してください。

また、本学が必要とする場合には、志願者又は関係者との面談等を行うことがあります。

(3) 本学所定の用紙の請求方法

郵便で障害者等受験上の配慮申請書の用紙を請求する場合は、封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし、84円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm））を同封し、教育学部学務係に送付してください。

なお、用紙は、岐阜大学ホームページからダウンロードすることもできます。

(4) 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合は、至急教育学部学務係へ問い合わせてください。

14 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について

専攻・コース	昼	夜
教育臨床心理学専攻	○	—
教職実践開発専攻 学校管理職養成コース	○	—
教職実践開発専攻 教育実践開発コース	○	○
教職実践開発専攻 教科指導能力コース	○	—

注) 教育実践開発コースのみ遠隔教育を実施する。

① 土・日曜日及び夏季休業等開講

一部の授業科目を土・日曜日、夏季休業中に遠隔授業で開講する。また大学へ通学可能な夏季休業時等は、大学へ行き受講することもできる。

② 遠隔教育の方法

岐阜大学教室とインターネット接続された機器等を備えた自宅等とをオンライン会議システムでつなぎ、双方向通信で授業を行う。

15 長期履修学生制度について

大学院設置基準の一部改正（平成14年3月28日施行）により、学生が職業を有しているなどの事情により、研究科の標準修業年限の2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨申し出たときは、その計画的な履修を認めることができることになり、本学でもこの制度を導入している。

なお、通常、授業料は年額535,800円で、標準修業年限で修了する場合には、2年間分（1,071,600円）が必要となるが、前述の履修方法が認められた学生の授業料の年額は、2年間分の授業料（1,071,600円）を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

16 修業年限短縮の特例について

岐阜大学大学院学則の規定に基づき、所定の単位を修得し、学位を授与されるための研究計画等において特に優れた業績が認められる者の修業年限は、標準修業年限2年のところ、1年又は1年6月に短縮することができる。（教職実践開発専攻を除く）

17 大学院学生の学部開講科目の受講について

大学院学生は申合せに基づく承認を得て、学部講義等を受講することができる。

18 大規模災害により被災した岐阜大学入学志願者の検定料の免除について

岐阜大学では大規模自然災害により被害に遭われた方に対して検定料免除の特別措置を行います。詳細は岐阜大学のホームページ <https://www.gifu-u.ac.jp/> を参照してください。

19 そ の 他

- (1) 出願書類を郵送で請求する場合は、返信用封筒（角形2号・縦33.2cm×横24.0cm）に250円分の切手を貼り、住所・氏名・郵便番号を記入し、これを折りたたんで「教育学研究科募集要項請求」と朱書きした定形の封筒に入れ、下記へ請求すること。
- (2) 過去の入学試験における学力試験問題は、本学教育学部学務係にて閲覧することができる。
- (3) 出願書類の請求及び学生募集に関する問合せは、下記あてに行うこと。

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学教育学部学務係 電話 058-293-2206・2209

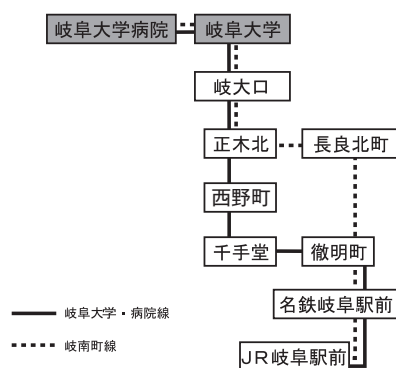
- (4) 本学への交通機関（令和4年5月現在）

行 先	路 線 名	J R 岐 阜 駅 か ら	名 鉄 岐 阜 駅 か ら
岐 阜 大 学	岐阜大学・病院線	J R 岐阜駅前（北口） バスターミナル9番乗り場	名鉄岐阜バスターミナルE番乗り場 名鉄岐阜駅前（北進）4, 5番乗り場
岐阜大学病院			

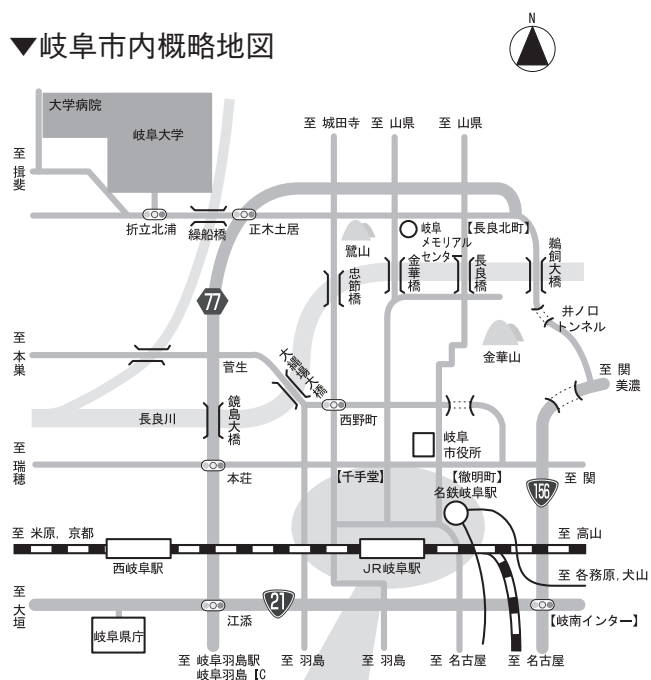
1. 主な路線のみ掲載しています。その他の路線については岐阜バスのホームページ等で確認してください。
2. 所要時間は約30分ですが、市内の交通事情により大幅にこれを上回ることがあるので注意してください。

岐阜市内地図 (関連分)

▼バス路線図(略図)



▼岐阜市内概略地図



▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば

